

中井だよい

中井やまゆり園

原点に戻って

生活第二課長 狩野 恵子

皆様こんにちは。4月に中央児童相談所から転入してまいりました生活第二課の狩野と申します。5か月経ちますが、改めましてどうぞよろしくお願いいたします。

新採用から11年間、愛名やまゆり園とひばりが丘学園で勤務させていただきました。その後は、児童相談所・総合療育相談センター・保健福祉事務所などで勤務して、このたび施設に戻りました。神奈川県福祉職に採用され、まずは施設で直接対人援助をしっかりと学ばせていただいた上で、様々な福祉分野を経験させていただきました。正直なところ、また施設で勤務させていただくことになるとは思っておりませんでした。「原点に立ち返りなさい」ということなのかなと感じています。

振り返れば施設での懐かしい思い出がたくさんあります。新採の頃は、布おむつのセットに時間がかかったこと、出勤すると担当の利用者さんに「来たのかよ～」と歓迎されてうれしかったこと、健脚の方や車椅子の方など利用者さんに合わせたコース別お散歩マップを作り散歩したこと、ご家族も一緒にバーベキューをしたこと、夜勤中に利用者さんにトイレにちり紙を詰められて下の階まで水浸しになったこと、養護学校の授業参観では分刻みで担当寮の児童全員の教室を回ったこと、運動会の応援に行ったら担当児童がパニック状態となってすでに退場していたことなど、いつまでも語り続けることができます。

さて、中井やまゆり園での生活は、久しぶりの女性ばかりの環境に戸惑いを感じつつも少しだけ慣れてきました。でも春寮の利用者さんも秋寮の利用者さんもまだよく理解できていない部分が多く、利用者さんから教えていただいているところです。毎朝、利用者さんに挨拶すると、様々な形で応えてくれて一日が始まります。イレギュラーな日課の際に、写真カードなどの提示で苦手なことを克服し、褒められてうれしそうな利用者さんの笑顔に癒される日もあります。通院の付添をすると、利用者さんが普段と違った一面を見せてくれることもあります。これからもどんな発見があるのかとても楽しみです。

少しだけ慣れたと言いましたが、何でも慣れてしまわずに「あれっ？」と感じられるようアンテナを張っていたいと思います。4月1日の「これから大変そうだな」という率直な印象と緊張感を忘れずに、生活第二課の真面目で頑張り屋の職員たちと共に、利用者さんの生活をより豊かにできるように日頃のちょっとしたエピソードから話し合い、工夫しながら支援していきたいと思います。これからもご家族の皆様から、利用者さんのことをたくさん教えていただきたいです。それでは残暑厳しき折、皆様くれぐれもご自愛ください。